



布施だより

《 全国学力・学習状況調査の結果を受けてのお知らせ 》

今春4月22日に3学年を対象に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を受けて、本校3学年生徒の学習状況と指導改善の方向について概要をお知らせします。

(詳細は3学年保護者様に3日付けで通知しました。)

1【国語】

正答数の分布状況は【A(知識)】については、全国とほぼ同様の傾向にあります。

々 【B(活用)】については、中間層がやや少ない傾向にあります。



(1)【国語A】について <主として知識に関わる問題>

◇目的に応じて資料を効果的に活用して話すことや内容を聞き取る力、小説の下書きを読み手に印象強く伝えるために、書き換えた表現を補う問題は全国を上回っていました。聞き取り問題を位置づけ、辞書を使用しての取り組みの成果が出てきています。

◆古文の歴史的仮名遣い「まうけて」を現代仮名遣いに直すことや内容を正確にとらえることで正答率が全国を下回りました。古文の基本である仮名遣いや語句の意味について繰り返し確認したり音読を繰り返したりすることで理解を深めることができるように取り組んでいきます。



(2)【国語B】について <主として活用にかかわる問題>

◇本とインターネットの資料を比較したときの説明として適切なものを選択する問題や適切な答えを選択肢から選ぶ問題では、正答率が全国を上回りました。ワークブックを利用した学習で選択肢と文章の情報を比較して答えるなどの読み取りの成果が出ています。

◆事実や事柄が明確に伝わるように書く、必要な語句を使い示された条件に沿って根拠を明確にして書く、本文を根拠に気持ちを想像して書く設問では、全国の正答率をやや下回りました。明確な根拠をあげて自分の考えをまとめ、伝え合えよう重点を置いて指導していきます。



2【数学】

正答数の分布状況は、【A(知識)】【B(活用)】ともに全国とほぼ同様の傾向にあります。

(1)【数学A】について <主として知識にかかわる問題>

◇領域「数と式」「図形」「資料の活用」については、全国の正答率を上回る結果でした。基本的な計算問題や基本的事項の定着が図られています。

◆「図形」では、円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ問題の正答率がやや低い結果でした。公式の理解を軸に、学習段階で具体的操作等を通して「図形」領域を確実に定着させていきます。

(2)【数学B】について <主として活用にかかわる問題>

◇領域「資料の活用」については、全国の正答率を上回る結果でした。問題に手をつけない無解答率の生徒は少なかったことから、ねばり強く取り組む姿勢が育ってきていると考えられます。併せて、最近の傾向である論理的に記述できる力をさらに育てたいと考えています。

◆出題の形式は(1)、(2)、……と小問が続く形です。(2)や(3)の小問は、(1)や(2)を関連させて解く場合が多く、正答率は(1)が高く、(2)、(3)と後半が低い結果となりました。小問を順番に関連、活用させていく数学的な見方や考え方の力を身につけさせる授業を展開していきます。



3 【生徒質問紙からの傾向】

◇「ものごとを最後までやり遂げて嬉しかったことがある」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、嬉しかったことがある」と回答した生徒は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」まで含めると、どちらも8割を超えています。粘り強く達成感を味わうことの喜びや仲間との協同追究を楽しもうという意識が強いことも分かります。

◆「家で予習・復習をしていますか」の質問に対して、「している」という回答が全国平均を下回りました。各教科において授業内容の確実な定着と発展的な力の獲得を目的として、家庭学習の内容を再検討します。

□「国語（数学）の勉強は大切だと思いますか」の質問に「当てはまる」と回答した生徒がそうではない生徒と比較して、両教科とも正答率が10数%高い結果になっています。このことから学習する動機づけと意味づけがいかにも有効であるかが分かります。これからも、国語・数学も含めて学習する意義を学習や追究の中で共に考え、さらに伝えていこうと考えます。

《 読書の秋です ～西中図書館の紹介です～ 》



秋の読書の季節がやってきています。

篠西中の大切な学習活動に朝読書があることは、今までに何度か紹介しました。その朝読書の柱となっているのが「読み聞かせボランティア～虹の小箱～」の方々による読書活動です。今年も10月に1・2学年対象に「お話しの会」<2学年は14日（火）に『さるのこしかけ～宮澤賢治作～』『公正な裁判官～トルストイ～』・1学年は17日（金）に『神ネズミと唐猫～民話～』『きつね女房～民話～』>が予定されています。学年みんなで多目的室に集い、読み聞かせをお聞きします。

生徒たちはボランティアの方が紡ぎ出す物語の世界に一心に目と耳を傾け、浸りこむこととなります。中学生諸君にとっても、「読み聞かせ」読書はとても魅力あるもののようなのです。自分が経験できない世界や社会を、「絵本や小説・読み物」を通して追体験していく機会を、何千回・何万回と繰り返すことで、豊かな言語感覚と味わい深い人間世界を手にしていくことにつながっています。

そして「西中図書館だより 葉」には毎月の新着図書の新刊が紹介されています。

「西中図書館だより『葉 2.014 8月号』」より3冊の「新刊本の紹介と新着図書」の抜粋

を転記します。



人とともに暮らし犬を見つけた、
俳人一茶の優しいまなざし。全国
から集まった犬たちと、犬の俳句の
コラボレーション



光秀の謀反、あの「怨恨説」は本
当なのか？ 信長は、なぜ、あれ
ほど無防備だったのか？ 家康の
奇怪な行動、その裏には何が？
明智光秀の子孫が本能寺の変に
潜む謎を解き明かし、驚愕の真実
を明らかにする



今多コンツェルン広報室の杉村三郎
は、事故死した同社の運転手・梶田信
夫の娘たちの相談を受ける。一見普通
な梶田の人生をたどり始めた三郎の
前に、意外な情景が広がりはじめ。一
稀代のストーリーテラーが丁寧に紡
ぎだした、心揺るがすミステリー。

資料名	著者名	分類
『満州へ行く』とは？少年たちの 憧れと現実	義勇軍シンポジウム実 行委員会	204
本能寺の変431年目の真実	明智 憲三郎	210
四字熟語で読み解く現代日本	歴史教育者協議会 編	210
NHK歴史秘話ヒストリア第2章 1～5	NHK歴史秘話ヒストリ ア制作班 編	210
遺跡から調べよう 1・2	設楽 博己	210
シベリアからの手紙	北田 滝	210
遙かなる紅い夕陽	平和記念事業特別基金	210
ナショナルジオグラフィック考古 学の探検		
さがし絵で発見！世界の国ぐに 11～15	こどもくらぶ 編	290
行ってみよう！京都・奈良図鑑	全国修学旅行研究協会 監修	291
はじめて学ぶ憲法教室	菅間 正道	323
職場体験完全ガイド 36～40		366
わたし8歳、カカオ畑で働きつけて	岩附 由香	366
15歳のワークルール	道幸 哲也	366
おしえて、ほくらが持っている働く権利	清水 直子	366
音のない世界と音のある世界をつなぐ	松森 果林	369
ぼくは13歳職業、兵士。	鬼丸 昌也	369
なりたい自分を見つける！仕事の 図鑑 14～16	<仕事の図鑑>編集委 員会 編	375
絵本ごよみ二十四節気と七十二候 春・夏・秋・冬	坂東 真理子 監修	380
世界のともだち 1～10		384
宇宙と生命の起源	小久保 英一郎	443
シーラカンスの謎	安部 義孝	487
ナックの声が聞きたくて！	村山 司	489



<図書館前の New Book Street>

「秋の参観日旬間<14日(火)～24日(金)>
が始まります。ご来校の際、「図書館」にも足
をお運びください。生徒諸君の「知」の宝庫を
ご覧になり、書籍を手にお取りください、

お待ちしております。

《 秋の文化活動に、スポーツ活動に、 収穫の時です！ 》

<小さな親切運動作文コンクール> 優秀賞 3年 宮坂舞於さん 「十円玉」

銀賞 3年 清水彩加さん 「少しの勇気でつながる輪」

<サッカー部>

新人戦市中全会 第14位 北信大会出場 10月5日(日)

～ ～ ～ ～ ～

生徒会諸君が行ってくれている「ありがとう運動」に触発されて、私の嬉しかった「ありがとう」です。

～先日、職員室の掃除中、新聞紙を束ねていたら、傍らでひとりの男子生徒がしばらく立っていました。掃除の邪魔をしているのかなと思い、『邪魔をしちゃったね、ごめんなさい。』と言うと『いいえ。それ(新聞紙の束)、持っていきます。』と、笑顔で両手を差し出してくれました。また、廊下のほこりを塵取りで取ろうとしていると『あっ、あとで私が集めて取っておきますから大丈夫です。』と。

自ら気づいて動いてくれたことももちろんうれしいのですが、その言葉遣いがキリッとしていて実にさわやかです。場面や状況に応じた言葉遣いのTPO。どこで身につけてくれているのでしょうか。

社会に出て通用するマナーや決まりを覚えることと同様に、何気ない心遣いの一言を伝えられる思いやりが、さわやかに人と関わろうとするいさぎよさが、西中の生徒たちの中に確かに育っています。～

